



中田 将稔

NAKATA Masatoshi

住友電気工業
上席常務執行役員

談論 風発

INTERVIEW

スポーツ支援も 「五方よし」のところで



私が副委員長を務めている関経連のスポーツ振興委員会では、2018年7月に公表した「関西スポーツ振興ビジョン」に基づき、企業所属のアスリートを地域のスポーツイベント等に派遣する取り組みやジュニアアスリートの競技力向上をめざした医科学支援などを展開しています。また、関西広域連合と関経連が2019年度に創設した「関西スポーツ応援企業表彰」では、関西2府8県に所在する企業・団体等を対象に、“従業員のスポーツ活動の促進”、“スポーツ分野での社会貢献活動等を通じたスポーツ振興や地域経済の活性化”への貢献を評価し、表彰を行っています。弊社も社内のスポーツイベント「SEIチャレンジカップ」と地域スポーツ振興のための運動教室の取り組みを評価いただき、2023年に大賞を受賞しました。

2015年に定めた「住友電工グループ健康経営宣言」を实践するべく、現在は「生活習慣病対策」「運動習慣づくり」「メンタルヘルスケア」を3つの柱とした「健活!」活動をグループ全体で推進しており、社内の同好会やサークルおよび個人のスポーツ活動を支援しています。2018年から開催している「SEIチャレンジカップ」と運動教室もその一環で、「SEIチャレンジカップ」では、だれでも参加できる競技を取り入れて多くの社員の参加を促し、運動習慣づくりのサポートに加え、職場内のコミュニケーションの活性化もはかっています。コロナ禍以降はオンラインを活用したウォーキング・ランニングイベントも実施し、世界13カ国のグループ社員が参加するグローバルな大会となりました。一方、地域の子供たちが主な参加者の運動教室は、元日本代表選手が陸上競技などの技術指導を行うイベントで、地域社会のスポーツ振興の一端も担っています。

昨年の関西は、2025年大阪・関西万博で大いに盛り

上がりました。次の一大イベントは、2027年5月に開催される「ワールドマスターズゲームズ2027関西」です。おおむね30歳以上のスポーツ愛好者ならだれでも参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会で、弊社グループも500名以上の参加を目標として、エントリー費用や旅費の補助制度を設け、社内PRを始めています。アーリーエントリーはすでに開始されており、3月2日からは一般エントリーが始まります。人気競技は早めのエントリーがおすすめです。

私自身、中学時代の部活動は卓球に打ち込み、たまたまですが、奈良県大会の個人戦で3位になったこともあり。その後は応援側に回りましたが、中国の現地法人に赴任した際には、休憩時間に社内の卓球台で現地社員とラリーを楽しみ、職場対抗戦に出場するなど、卓球が社員との交流に役立ちました。年齢を重ねてからも楽しめる、これもスポーツの醍醐味です。

弊社伊丹製作所がある兵庫県伊丹市では、2026年度より中学校の部活動が廃止され地域クラブに移行される予定です。これを受けて昨年12月、同製作所は伊丹市と中学校部活動地域移行に関する連携協定を締結しました。私も「中学生になったら部活動が始まる」とワクワクした経験を持つ一人ですが、この年代のスポーツ体験はその後の人生の大きな糧となります。弊社の陸上競技部で活躍した社員が、中学校の教員や伊丹市陸上競技協会の指導者と協働し、子どもたちが継続的に質の高い指導を受けられる環境づくりに貢献できればと考えています。地域の方々にも多数参加いただいている「住友電工陸上フェスタ」の開催も含めたスポーツ振興をはじめ、今後も弊社グループでは、「五方よし」の考え方にに基づき、ステークホルダーの一つである「地域社会」への貢献に尽力していきます。（談）